

スムーズな作動は  
電池消費も抑えられる!  
すべてを解決する  
「アップデート」

該当事象 1 2 3 4

ツーリング中の電池切れは、使い次第でもあるが、休憩時にモバイルバッテリーなどで数十分でも充電しておく、その後、数時間使えるようになる。また、ファームウェアを最新のものにすると、バッテリーの持ちがよくなったり、通話品質がよくなることも。随時最新版をチェックして、必要ならアップデートしておこう



本体のバージョンは最新になっていきますか? A.4



トラックなどの大きなクルマが周りに  
いませんか? A.5

人数が増えればその問題は軽減されるかも

該当事象 1 2 3 4

インターコムは電波で通信するため、お互いの間にクルマのような電波を遮るものがあると、音質が低下したり途切れる原因に。また、大型トラックのような「壁」は不必要に電波を反射して、やはり音質を低下させる。なお、メッシュなら人数が増えると音質低下を抑える効果がある



A.3

本体がクランプユニットに  
しっかりと装着  
されていますか?

防水・防塵の観点からもしっかりと装着を!

該当事象 1 2 3 4

クランプユニットを介してヘルメットに取り付けるタイプのモデルは、本体がユニットに正しく付いていないと、接触不良などが原因で音が途切れたりすることがある。また、正しく装着されていないと、水やホコリが入って端子が錆びたり汚れたりして、故障の原因にもなる

SENAに関するすべての“?”はカスタマーへ!

<https://senablueooth.jp/>

ットを脱ぎ着するときに、顔に当たったりして簡単に向きが変わってしまう。マイクが反対側を向いていたりすると、周囲の騒音や風切音を拾ってしまい、相対的に自分の声が小さくなって、相手が聞きづらくなる。相手のオーディオマルチタスクがうまく動作しない、といったトラブルも、自分のマイクが発生するノイズが原因だったりすることがある。また、スポンジの風防がないと、風切音が増えちゃうので、こちらも必ず付けて使うようにしましょう。

また、クランプユニットを介してヘルメットに取り付けるモデルの場合、ここの接触不良というのでもトラブルの原因になりやすい。本体を装着する際には、クランプと本体の端子がしっかりと固定されるまで差し込むようにしたい。このほか、インターコムの設定やアップデートを確認して対処すると、解決することもある。それでも解消しないようなときには、相談できる場所は2カ所ある。購入した店舗に相談、セナプロショップには認定アドバイザーがいる。また、セナのカスタマーサポートに連絡すれば丁寧に対応してくれるので、困った時には気軽に問い合わせよう。

最近免許を取ったばかりの編集部Kが、レンタルバイクでビーナスラインへツーリングに。仲間がセナ・メッシュのインカムを使っているため50Sを装着。ウェアもバッチリに決め、華麗なるツーリングデビューを果たした! ……ハズだったのだが

人数 3人 機種 50S(全員)

- 1 ツーリング中、たまに仲間の声が聞こえなかった
- 2 高速走行中、聞こえなくなる時があった
- 3 自分の声が聞きとりづらいと言われた
- 4 音楽をかけていたのにたまに聞こえなかった



楽しかったけど通話できない時は不安だった……!

相談者  
編集部K

A.2

Audio Overlay  
をオンにして下さい!

マイクが風切り音などを拾っているかも!?

該当事象 4

オーディオマルチタスク機能を使っている場合、マイクが騒音を拾い、それに反応して音楽が途切れ途切れになることがある。その場合はAudio Overlay音量管理をオンにする。この設定がオンだと通話中や、ノイズを拾っても、音楽などがフェードせずに聞こえてくる

また、よくあるのが、マイクが誤った方向に向いてしまっていること。特にブームマイクはヘルメットを脱ぎ着するときに、顔に当たったりして簡単に向きが変わってしまう。マイクが反対側を向いていたりすると、周囲の騒音や風切音を拾ってしまい、相対的に自分の声が小さくなって、相手が聞きづらくなる。相手のオーディオマルチタスクがうまく動作しない、といったトラブルも、自分のマイクが発生するノイズが原因だったりすることがある。また、スポンジの風防がないと、風切音が増えちゃうので、こちらも必ず付けて使うようにしましょう。

実録! “つながらない”の原因と対策

# SENAインカム なんでも相談室

インターコムを使っていて、一番多いトラブルはやはりインターコムや音楽の“音”[相手の声が聞こえづらい]「よく通話が途切れてしまう」「音楽が途中で切れる」などなど、こうしたトラブルは誰もが一度や二度は経験したことがあるハズ。今回はそんなインターコムの音にまつわる困りごとに対処するヒントを紹介しよう

文/八百山ゆーすけ 問:セナブルトゥースジャパン <https://senablueooth.jp>



A.1

ブームマイクは正しい向きで  
装着できていますか?

ブームマイクには向きがある! 風防も確実に装着を!

該当事象 2 3 4

“裏返し”になっていると、風切音などを拾ってしまうことで音が遠く感じたり、音が途切れたりする。マイクの向きは、表面の▲マークがある方を口に向け、フィン(突起)がある方を外側に向けるのが正解。なお、ハーマン&カードンのマイクは指向性がないため、どの向きでも声だけを拾ってくれる

セナのカスタマーサポートは丁寧に対応してくれて安心  
今やインターコムはグループツーリングの必需品。ソロツーリングでも、スマートフォンやナビの音楽を聴いたり、ナビアプリの案内音声を聞いたり、現代のバイクライフではもはや手放せないツールになっているといえる。  
それだけに、使っている最中にいざ音が聞こえなくなったり、仲間の声が途切れ途切れになったりすると、ほんとに困ってしまいます。当たり前に使えていたものが突然使えなくなると、本当に途方に暮れてしまうものだ。  
そんなときにまず確認してみたいのが、走行中の周囲の環境だ。インターコムは声をデータとして電波に乗せて相手と通信している。そのため、通話相手と大きく離れると電波が弱くなって音質が悪くなったり、途切れやすくなる。また、相手との間にトラックなどの大きなクルマがいたりすると、電波が遮断されてやはり通話の状況が悪くなってしまふ。やはり、お互いがあるべく離れず、見通せる状況のほうが音のトラブルは少ない。  
また、よくあるのが、マイクが誤った方向に向いてしまっていること。特にブームマイクはヘルメット